

公民連携で整備 貴生川駅前周辺整備事業（キラッタ・プロジェクト）

県内初の公民連携手法による開発

公民連携は、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う事業手法を言います。
甲賀市では、貴生川駅前の公民連携による市有地整備事業「キラッタ・プロジェクト」マスタープラン案が市議会に報告され、3月24日に開催された「次世代へつなぐ、都市経営シンポジウム」において、市民に事業内容の説明がされました。

■貴生川駅周辺地区都市構造再編集 中支援事業に約30億円

- ① 貴生川駅北口ロータリー改修事業
- ② 貴生川駅自由通路改修事業
- ③ 南口交流拠点の整備事業
- ④ コミュニティセンター整備事業
- ⑤ 杣川歩行者専用橋整備事業
- ⑥ 杣川河川敷公園の整備事業



貴生川駅周辺整備のイメージパース（模型）

市は若者・子育て世帯に選ばれるまちづくりプロジェクトとして、令和7年度から令和12年度にかけて、貴生川駅周辺を整備する計画です（上記）。
駅南口エリアについては、甲賀市の所有する土地の上に、民間が施設を整備し、公共施設及び民間事業として運営管理していく、公民連携事業として推進するとしています。

南口には共創ラーニングセンター（1階にイベントスペースや音楽スタジオ、2階に図書館など）や賃貸住宅が整備される計画で、市は住まいと学びの一体化を実現、交流拠点を一歩進めたい考えです。
しかし、本来市が行うべき公共サービスを、民間主導で行うことで、サービスが本質に向上するのかが、市民のニーズに沿ったものとなるのかが問われるところです。

令和8年度から、市の総合政策部に「公民連携係」が設置されました。貴生川駅周辺整備事業だけでなく、水口スポーツの森再整備事業、さらに今後は、公営住宅や企業誘致についても、「公民連携」手法が取り入れられようとしています。これらの体制で、あらゆる分野で取り組むとされている「公民連携」が実効あるものになるのかどうか、行政の主体性も含めて疑問なところがあります。結果として、コンサルタント会社任せにならないか心配されます。



日本政府はイラン攻撃に抗議せよ

120回目のもう黙ってられない怒りのつどい

4月4日（土）、120回目を迎えた甲賀・湖南もう黙ってられない怒りのつどいを甲賀市役所前で行いました。
参加した人たちは「戦争止めよ・9条守れ、日本政府はイラン攻撃に抗議せよ」の横断幕を手に持ち市民に呼びかけを行いました。
マイクを手にした参加者は、トランプ大統領の無法ぶりへの怒りとともに、「アメリカベったりで、「イラン攻撃止めよ」の声をまったく上げない高市首相への批判が出されました。また、憲法9条が危険にさらされる中、「市民に9条の中身を知らせ、平和を守る力になつてもらう」と憲法前文を紹介される方、「9条を世界に広め、世界の平和づくりに役立てよう」と力強い訴えが続きました。
平和が脅かされる今、10年を超えるこのつどいの継続がますます大切になっていきます。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2026年 4月 12日 第578号	 山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	 岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	 西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
---	---	--	--